

平成 28 年度

学校 自己 評価表

愛知産業大学工業高等学校 通信制課程

目 次

1. 教育目標
2. 教通信制課程の構成
 - (1) 通信制課程の構成
 - (2) 技能連携校
3. 重点目標の取り組みと課題、改善方策
 - (1) 校 務
 - (2) 教 務
 - (3) 進 路
 - (4) 指 導
 - (5) 生活相談

1. 愛知産業大学工業高等学校通信制課程（単位制普通科 男女共学）の教育目標

通信制課程単位制に在籍する生徒は多様な価値観を持っている。その一人ひとりの生徒が持つ様々な価値観に対応できる教育内容の充実を図り、生徒指導を通して地域社会から信頼される教育活動をめざす。そして、生徒が個々に持っている課題に応える体制を整え、学ぶ喜びと共に意欲と自信を持たせる。

2. 教通信制課程の構成

(1) 通信制課程の構成

本校通信制課程には、学年制の生徒が在籍する技能連携校（専門学校高等課程）と本校独自の単位制で構成されている。学年制には、普通・電気・機械科があり技能連携を結ぶことによって専門学校の学修を本校の単位として認定している。本校単位制には、4つのコース（平日コース〔午前〕・通学コース・個別対応コース〔午後〕・日曜コース）がある。

(2) 技能連携校

名古屋工学院専門学校高等課程（普通科・電気科）
東海工業専門学校熱田校高等課程（普通科・機械科）
あいち造形デザイン専門学校高等課程（普通科）
専門学校緑ヶ丘女学院高等課程（普通科）

3. 重点目標の具体的な取り組みと課題、改善方策

(1) 校務

重点目標
① 校内における生徒の事故をゼロにする。
② 各階担当、教室管理者による教室整備と校内美化に努める。

【具体的な取り組み】

- ・校内における飲食の禁止を徹底して、ゴミを減少する。
- ・週末清掃を行い教室の美化整備を実施する。

【自己評価及び課題等】

- ・校内事故はゼロを達成できた。

(2) 教務

重点目標
① 各科目の単位修得率を向上させる。
② 授業の視聴覚教材を作成する。
③ 技能連携校スクーリング新教材の作成と確認を行う。
④ 技能連携校におけるスクーリングを効果的に行う。
⑤ 資格取得の奨励

【具体的な取り組み】

- ・授業やレポートの内容は、基礎基本的な項目に精選して生徒の学力に対応する。
- ・欠席の多い生徒には家庭連絡を行い保護者に周知し協力を依頼する。
- ・入学説明時に出席時間数、レポート提出、試験などについて丁寧に説明や確認をする。

【自己評価及び課題等】

- ・単位修得率の改善に向けてインターネットで出席やレポート提出状況の確認、映像授業の配信システムを構築する。
- ・在籍生徒の大きな学力差に対応した授業展開を実施するため視聴覚教材を作成する。
- ・基本的な生活習慣が確立されていない生徒やアルバイト中心の生徒への生活指導を強化する。
- ・自分の力だけでレポートを完成させることができない生徒への教科指導を強化する。
- ・「産業社会と人間」、「総合的な学習」の時間を利用して基本的な生活習慣の指導をする。
- ・技能連携校に関する教務事務関係の作業を行う必要があるため、技能連携校間との連絡は密に行う。
- ・資格取得の奨励を促す。

本年度の主な取得状況：小型車量系建設機械(1名)、フォークリフト(1t未満)(2名)、クレーン(5t未満)(2名)、
小型ボイラ取扱者技能講習(4名)、建設業基礎・オペレーターコース(2名)

(3) 進路

重点目標
① 進学率を向上させる。
② ハローワークによる就職希望生徒の内定率の向上。
③ 進路未定者の減少を目指す。
④ 能力・適性に合った進路を決めるための面接指導を行う。

【具体的な取り組み】

- ・6、7月に就職説明会、進学説明会を行い、進路に対する意識を持たせる。
- ・学校斡旋就職希望者に対して7月のジョブ・キャンパスエクステンションに参加させ、希望する企業を選択させ内定できる指導を実施する。

【自己評価及び課題等】

- ・進学率の向上のため今後も継続して指導に取り組む。

本年度の主な実績：愛知産業大学、慶應義塾大学、愛知学院大学、愛知産業大学短期大学、他
・就職希望の生徒には、就職説明会、ジョブ・キャンパスエクステンションに参加させる。

(4) 指導

重点目標
① 登下校時の交通事故ゼロを目指す。
② オートバイ・自家用車での登校禁止を徹底する。
③ 健康診断通知書、治療が必要な生徒への治療勧告書の配布。

【具体的な取り組み】

- ・「産業社会と人間」「総合的な学習」の時間に、社会的モラルと法律の遵守を指導する。

【自己評価及び課題等】

- ・登下校のマナーの徹底を図るため、「産業社会と人間」「総合的な学習」の時間に、社会的モラルと法律の遵守を指導する。

(5) 生活相談

重 点 目 標
① 不登校生徒のカウンセリングを促す。
② 欠席過多の生徒や不登校気味の生徒への家庭連絡を適切に行う。 (家庭との連絡を密にする)

【具体的な取り組み】

- ・家庭との連絡を密にして自学自習をサポートし、単位の修得につなげる。

【自己評価及び課題等】

- ・引き続きスクールカウンセラーの指導を受けながら生徒指導を進めている。

以上

平成 28 年度

学校 保護者 評価表

愛知産業大学工業高等学校
通信制課程 単位制

保護者評価アンケート結果(%)

■ Aー当てはまる ■ Bーやや当てはまる ■ Cーあまり当てはまらない ■ Dー当てはまらない ■ Eーわからない

